

研究成果の刊行に関する一覧表

1. 書籍

No	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
1	後藤葉一	心筋梗塞の予後リスク管理と患者教育, 心筋梗塞急性期・慢性期のリハビリテーション	永井良三	循環器研修ノート	診断と治療社	東京	2010	559-570
2	後藤葉一	心臓リハビリテーションの歴史	日本心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション必携	コンパス	東京	2010	200-204
3	後藤葉一	左室機能低下を伴う高齢心不全症例	日本心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション必携	コンパス	東京	2010	309-310
4	中西道郎, 後藤葉一	疾患別心臓リハビリの実例 6.心不全	上月正博	現場の疑問に答える 心臓リハビリ 徹底攻略 Q&A	中外医学社	東京	2010	254-265
5	後藤葉一	拡張期心不全の治療	大木 崇, 竹中克	拡張期学 Diastology のすべて	文光堂	東京	2010	244-252
6	後藤葉一	循環器予防介入としての心臓リハビリテーション	和泉 徹	エビデンスに基づく循環器病予防医学	南山堂	東京	2012	311-317
7	後藤葉一	急性心筋梗塞のリハビリテーション, 運動療法	山口 徹, 北原光夫, 福井次矢	今日の治療指針 2013 年版	医学書院	東京	2013	416-417
8	後藤葉一	狭心症の一般療法と生活指導	井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之	今日の循環器疾患治療指針第 3 版	医学書院	東京	2013	404-407
9	後藤葉一	心臓手術後のリハビリテーション	井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之	今日の循環器疾患治療指針第 3 版	医学書院	東京	2013	843-845
10	後藤葉一	心疾患のリハビリテーション	井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之	今日の循環器疾患治療指針第 3 版	医学書院	東京	2013	846-848
11	荒川鉄雄, 後藤葉一	運動療法・心臓リハビリテーション	服部隆一	心不全をマスターする	文光堂	東京	2013	172-185
12	後藤葉一	心臓リハビリテーションを慢性心不全治療に活かす	伊藤 浩	変貌する心不全診療	南江堂	東京	2013	253-267

No.	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
13	松森理枝, 代田浩之	糖尿病における虚血性 心疾患の治療	門脇 孝, 植木浩二郎, 小田原雅人, 佐倉 宏, 浜野久美子, 松田昌文, 森 保道	糖尿病診療ガイド ド	南山堂	東京	2011	303-310
14	西谷美帆, 代田浩之	虚血性心疾患	和泉 徹	エビデンスに基 づく循環器病予 防医学	南山堂	東京	2012	122-131
15	岡井 巖, 代田浩之	虚血性心疾患診断・治療 の変遷	井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之	今日の循環器疾 患治療指針第3 版	医学書院	東京	2013	359-362
16	Yamaoka- Tojo M, Tojo T, Masuda T, Izumi T	Ezetimibe and Reactive Oxygen Species. in Vascular Protective Effects of Ezetimibe: Seeking New Therapeutic Possibilities of Ezetimibe in Vascular Disease.		Current Vascular Pharmacology 9(1)			2011	109-20
17	増田 卓	救急医療 心筋梗塞患者 の急性期治療と心臓リ ハビリテーション	水元清久, 岡本牧人, 石井邦雄, 土本寛二	実践 チーム医 療概論 実際と 教育プログラム	医歯薬出版	東京	2011	181-187
18	増田 卓	予防医学的身体所見評 価法	和泉 徹	エビデンスに基 づく循環器病予 防医学	南山堂	東京	2012	37-48
19	増田 卓	心不全, 心臓手術後の心 臓リハビリテーション	山口 徹, 北原光夫, 福井次矢	今日の治療指針 2013年版	医学書院	東京	2013	414-416
20	上月正博	包括的リハビリテーシ ョン	上月正博	リハ医とコメデ イカルのための 最新リハビリテ ーション医学	先端医療技 術研究所	東京	2010	9-12
21	上月正博	腎不全・透析患者のリハ ビリテーション	上月正博	リハ医とコメデ イカルのための 最新リハビリテ ーション医学	先端医療技 術研究所	東京	2010	254-257
22	上月正博	内部障害とは?	上月正博	リハビリスタッ フに求められる 薬・栄養・運動 の知識	南江堂	東京	2010	2-6

№.	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
23	上月正博	内部障害のチーム医療 とリハビリテーション	上月正博	リハビリスタッフ に求められる 薬・栄養・運動 の知識	南江堂	東京	2010	7-21
24	上月正博	包括的心臓リハビリ	上月正博	現場の疑問に答 える Q&A 心臓 リハビリ徹底攻 略	中外医学社	東京	2010	2-8
25	上月正博	チームワークを良くす るためにはどのように したらよいでしょ うか？	上月正博	現場の疑問に答 える Q&A 心臓 リハビリ徹底攻 略	中外医学社	東京	2010	14-16
26	上月正博	心臓リハビリに関する 保険制度	上月正博	現場の疑問に答 える Q&A 心臓 リハビリ徹底攻 略	中外医学社	東京	2010	27-34
27	上月正博	合併症を有する心臓リ ハビリの注意点	上月正博	現場の疑問に答 える Q&A 心臓 リハビリ徹底攻 略	中外医学社	東京	2010	286-289
28	上月正博	心不全患者の運動療法	上月正博	腎臓リハビリテ ーション	医歯薬出版	東京	2012	253-257
29	上月正博	イラストでわかる患者 さんのための心臓リハ ビリ入門	上月正博, 伊藤 修	イラストでわか る患者さんのた めの心臓リハビ リ入門	中外医学社	東京	2012	1-122
30	牧田 茂	人工臓器	上月正博	現場の疑問に答 える Q&A 心臓 リハビリ徹底攻 略	中外医学社	東京	2010	266-270
31	牧田 茂	基本運動プログラム作 成にかかわる医学的側 面からのアドバイス	田中喜代次	中高年の元気長 寿のための運動 プログラム	NAP	東京	2010	139
32	牧田 茂	運動療法とリハビリテ ーションー内科系疾患 ー	日本体育協 会指導者育 成専門委員 会 スポーツ ドクター部 会	スポーツ医学研 修ハンドブック 基礎科目第2版	文光堂	東京	2011	188-197
33	牧田 茂	運動・スポーツを安全に 実施するうえでの注意 点	坂本静男	メタボリックシ ンドロームに効 果的な運動・ス ポーツ	NAP	東京	2011	201-215
34	牧田 茂	心臓リハビリテーショ ン	高本眞一, 許 俊鋭	心臓外科 Knack and Pitfalls 心臓 外科治療の要点 と盲点	文光堂	東京	2012	124-130

№	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
35	牧田 茂	運動療法	永井良三, 許 俊鋭, 鄭 忠和, 澤 芳樹	先端医学シリーズ 43「循環器疾患の最新治療」	先端医学技術研究所	東京	2012	90-93
36	上嶋健治	心臓リハビリテーションの有効性	日本心臓リハビリテーション学会	指導士資格認定試験準拠 心臓リハビリテーション必携	日本心臓リハビリテーション学会	東京	2010	211-220
37	上嶋健治	虚血性心疾患	上月正博	リハビリスタッフに求められる薬・栄養・運動の知識：内部障害のケアのために	南江堂	東京	2010	32-47
38	上嶋健治	循環器予防からみたリスク評価	和泉 徹	エビデンスに基づく循環器病予防医学	南山堂	東京	2012	19-26
39	折口秀樹	心臓リハビリテーション各論 D.疾患別、健康状態別運動処方、高齢者、各種合併疾患における注意点	心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション必携	コンパス	東京	2010	244-247
40	折口秀樹	心臓リハビリテーション各論 G.運動処方に影響を与える薬剤	心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション必携	コンパス	東京	2010	252-253
41	折口秀樹	心臓リハビリテーションに必要な知識 1. 運動療法の効果	上月正博	現場の疑問に答える心臓リハビリ 徹底攻略 Q&A	中外医学社	東京	2010	86-89
42	折口秀樹	IV治療 E運動・リハビリテーション	朔 啓二郎	閉塞性動脈硬化症診療マスターブック	新興医学出版社	東京	2011	131-139
43	安達 仁	群馬県における急性心筋梗塞地域連携パス	後藤葉一	心筋梗塞・脳卒中中の地域連携パス 予後と QOL の改善をめざす包括的疾患管理	医学書院	東京	2011	
44	安達 仁	一般療法・運動療法	小川久雄	心筋梗塞二次予防に関するガイドライン 改訂版	日本循環器学会	京都	2011	
45	安達 仁	治療・管理目標の設定	和泉 徹	急性心不全ガイドライン 改訂版	日本循環器学会	京都	2011	

No.	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
46	安達 仁	プラーク安定化に包括的心臓リハビリテーションは有効か？	小室一成	EBM 循環器疾患の治療 2012-2013	中外医学社	東京	2011	55-58
47	安達 仁	動いて治そう心臓病	安達 仁	動いて治そう心臓病	中外医学社	東京	2011	
48	長山雅俊	維持期の心臓リハビリテーション. 狭心症・心筋梗塞のリハビリテーション	長山雅俊	心臓リハビリテーション 循環器臨床サピア 4. 心臓リハビリテーション実践マニュアル評価・処方・患者指導	中山書店	東京	2010	219-226
49	長山雅俊	心・大血管疾患術後の心臓リハビリテーション	長山雅俊	心臓リハビリテーション 循環器臨床サピア 4. 心臓リハビリテーション実践マニュアル評価・処方・患者指導	中山書店	東京	2010	245-252
50	長山雅俊	治療について①心臓リハビリテーション	樋口輝彦	内科患者のメンタルケアアプローチ 循環器疾患編	新興医学出版社	東京	2013	154-158
51	長山雅俊	急性心筋梗塞退院後(後期回復期から維持期)のリハビリテーション	井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之	今日の循環器疾患治療指針第3版	医学書院	東京	2013	851-854
52	大宮一人	疾患別・健康状態別運動処方	日本心臓リハビリテーション学会	心臓リハビリテーション必携	(株)コンパス	東京	2010	231-243
53	大宮一人	急性期、回復期、維持期心臓リハビリの実際	上月正博	現場に疑問に答える心臓リハビリQ&A	中外医学社	東京	2010	210-220
54	大宮一人	冠動脈疾患の運動処方、心筋梗塞後のリハビリテーション	堀 正二, 永井良三	循環器疾患最新の治療 2012-2013	南江堂	東京	2012	136-142
55	大宮一人	心筋梗塞急性期のリハビリテーション	井上 博, 許 俊鋭, 檜垣實男, 代田浩之, 筒井裕之	今日の循環器疾患治療指針第3版	医学書院	東京	2013	849-851

No.	著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
56	安藤可織, 廣川晴美, 西崎真里	第2章第3節 肺高血圧症で悩まないために～理学療法士のメッセージ～	監修: 松原広己 編集: 宮地克維	もう肺高血圧症なんかで悩まない! 岡山医療センターの取り組みから	メディカルレビュー社	大阪	2013	32-43
57	Yasu T, Katayama T, Ueba H, Kawakami M.	Effects of thiazolidinediones on in-stent restenosis: a review of IVUS studies.	Honda Y	Intravascular Ultrasound	InTech	Croatia	2011	151-157

2. 雑誌

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
1	Adachi T, Nakanishi M, Otsuka Y, Nishimura K, Hirokawa G, <u>Goto Y</u> , Nonogi H, Iwai N	Plasma MicroRNA 499 as a Biomarker of Acute Myocardial Infarction.	Clinical Chemistry	56(7)	1183-1185	2010
2	<u>Goto Y</u>	Exercise training in post-CABG patients at low prognostic risk. Beyond recovery from surgery.	Circulation Journal	74	2548-2549	2010
3	Hiura Y, Tabara Y, Kokubo Y, Okamura T, <u>Goto Y</u> , Nonogi H, Miki T, Tomoike H, Iwai N	Association of the Functional Variant in the 3-Hydroxy-3-Methylglutaryl-Coenzyme A Reductase Gene With Low-Density Lipoprotein-Cholesterol in Japanese.	Circulation Journal	74	518-522	2010
4	Wada T, Abe M, Yagi N, Kokubu N, Kasahara Y, Kataoka Y, Otsuka Y, <u>Goto Y</u> , Nonogi H	Coronary vasospasm secondary to allergic reaction following food ingestion: a case of type I variant Kounis syndrome.	Heart Vessels	25	263-266	2010
5	Kamakura T, Kawakami R, Nakanishi M, Ibuki M, Ohara T, Yanase M, Aihara N, Noguchi T, Nonogi H, <u>Goto Y</u>	Efficacy of Out-Patient Cardiac Rehabilitation in Low Prognostic Risk Patients After Acute Myocardial Infarction in Primary Intervention Era.	Circ J	75	315-321	2011
6	Nishi I, Noguchi T, Iwanaga Y, Furuichi S, Aihara N, Takaki H, <u>Goto Y</u>	Effects of exercise training in patients with chronic heart failure and advanced left ventricular systolic dysfunction receiving β -blockers.	Circ J	75	1649-1655	2011
7	中西道郎, 長山雅俊, 安達 仁, 池田こずえ, 藤本和輝, 田城孝雄, 百村伸一, 後藤葉一	我が国における急性心筋梗塞後心臓リハビリテーション実施率の動向: 全国実態調査	心臓リハビリテーション(JJCR)	16	188-192	2011
8	吉田朱美, 川上利香, 伊吹宗晃, 中西道郎, 大原貴裕, 相原直彦, 野口輝夫, 大塚頼隆, 野々木宏, 後藤葉一	急性心筋梗塞回復期心臓リハビリテーション参加率の14年間の経年変化-高齢患者・女性患者の参加率と不参加理由	心臓	43	620-627	2011
9	後藤葉一	心不全に対する心臓リハビリテーションのエビデンス	循環器内科	69	217-225	2011
10	後藤葉一	冠動脈疾患発症後のリハビリテーション	medicina	48	1204-1208	2011
11	後藤葉一	急性心筋梗塞(ST上昇型)の診療に関するガイドライン	日本臨牀	69	573-582	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
12	後藤葉一	重症心不全のリハビリテーションと運動療法	総合リハビリテーション	39	951-957	2011
13	後藤葉一	心筋梗塞診療の最新情報. 心臓リハビリテーション	臨床と研究	88	44-50	2011
14	後藤葉一	透析患者に対する心臓リハビリテーション	臨床透析	27	41-48	2011
15	中西道郎, 後藤葉一	心肺運動負荷試験(呼気ガス分析)による運動耐容能・予後予測・運動処方.	呼吸と循環	59	249-257	2011
16	後藤葉一	心血管治療としての心臓リハビリテーション 序文	呼吸と循環	59	225	2011
17	後藤葉一	血管治療としての心臓リハビリテーション preface	Monthly Bulletin Osaka Heart Club	34	1-2	2011
18	後藤葉一	急性心筋梗塞後の外来心臓リハビリテーションと地域連携パス	大津市医師会誌	34	11-17	2011
19	後藤葉一	心臓リハビリテーションの最近の動向	心臓	44	253-254	2012
20	熊坂礼音, 後藤葉一	ACS・心不全の長期疾患管理プログラムとしての外来心臓リハビリテーション	心臓	44	261-267	2012
21	後藤葉一	心血管治療としての心臓リハビリテーション: 過去・現在・未来	心臓リハビリテーション(JJCR)	17	8-16	2012
22	中西道郎, 後藤葉一	慢性心不全の非薬物療法 運動療法をどのように行うか	Heart View	16(5)	516-523	2012
23	Endo K, Naito Y, Ji X, Nakanishi M, Noguchi T, Goto Y, Nonogi H, Ma X, Weng H, Hirokawa G, Asada T, Kakinoki S, Yamaoka T, Fukushima Y, Iwai N	MicroRNA 210 as a Biomarker for Congestive Heart Failure.	Biological & Pharmaceutical Bulletin	36(1)	48-54	2013
24	築瀬正伸, 後藤葉一	心臓移植患者の運動療法	循環器内科	73(1)	103-108	2013
25	後藤葉一	2次予防と薬物療法(心イベント後の薬物療法) 心臓リハビリテーションと薬物療法 ~両者の兼ね合いをどうするか~	月刊循環器 CIRCULATION	3(3)	70-78	2013
26	後藤葉一	急性冠症候群患者における心臓リハビリテーション	日本医師会雑誌	141(12)	2622	2013
27	Kurabayashi M, Nohara R, et al	Can Intensive Lipid-Lowering Therapy with Statins Ameliorate Atherosclerosis in Japanese Patients? -Rationale and Design of the JART Study.	Jornal of Atherosclerosis and Thrombosis	17	416-422	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
28	福田旭伸, 野原隆司, 他	AV Nodal Reentrant Tachycardia in a Patient with Persistent Left Superior Vena Cava : Distinction between AV Nodal Versus Atrial Reentry.	Jornal of Arrhymia	26	134-139	2010
29	上原京勲, 野原隆司, 他	Alternative Approach for Aortic Valve Replacement in Mediastinal Deviation after Right Lobectomy.	Texas Heart Institute Journal	37(4)	455-456	2010
30	宮本昌一, 野原隆司, 他	Effect on Treadmill Exercise Capacity, Myocardial Ischemia, and Left Ventricular Function as a Result of Repeated Whole-Body Periodic Acceleration With Heparin Pretreatment in patients With Angina Pectoris and Mild Left Ventricular Dysfunction.	American Journal of Cardiol	107	168-174	2011
31	田中 希, 中根英策, 野原隆司	心疾患を有する糖尿病患者の運動療法はどのように行えばよいですか？	糖尿病レクチャー	2	377-382	2011
32	中根英策, 野原隆司	循環器領域での運動療法の重要性：明日から取り組むための基礎知識	Heart View	15	228-235	2011
33	中根英策, 野原隆司	虚血性心疾患の心臓リハビリテーション	CIRCULATION Up-to-Date	6	47-55	2011
34	Nohara R, Daida H, et al.	Effect of intensive lipid-lowering therapy with Rosuvastatin on progression of carotid intima-media thickness in Japanese patients. JART study.	Circulation J	76	221-229	2012
35	Yamazaki T, Nohara R, et al.	Intensive lipid-lowering therapy for slowing progression as well as inducing regression of atherosclerosis in Japanese patients. JART study.	Int Heart J	54	33-39	2013
36	Nohara R, Daida H, et al.	Effect of long term intensive lipid-lowering therapy with Rosuvastatin on progression of carotid intima-media thickness: JART Extension study.	Circulation J		Epub ahead of print	2013
37	Fukao K, Daida H, et al.	Voluntary exercise ameliorates the progression of atherosclerotic lesion formation via anti-inflammatory effects in apolipoprotein E-deficient mice.	J Atheroscler Thromb.	17	1226-36	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
38	代田浩之	虚血性心疾患最近の話題 治療わが国におけるLDLコレステロール低下療法とプラークの退縮・安定化	心臓	42 (10)	1387-1392	2010
39	大村寛敏, 代田浩之	炎症性疾患としての心不全・虚血性心疾患 炎症と冠動脈硬化症	心臓リハビリテーション(JJCR)	15(2)	224-231	2010
40	大坂裕通, 鬼柳尚, 代田浩之	糖尿病大血管症の主要疾患の診断と治療 血性心疾患	日本臨床	68(5)	911-919	2010
41	Masaki Y, <u>Daida H</u> , et al.	Clinical significance of the measurements of plasma N-terminal pro-B-type natriuretic peptide levels in patients with coronary artery disease who have undergone elective drug eluting stent implantation.	J Cardiol.	Mar 7		2011
42	Dohi T, <u>Daida H</u> , et al.	Plaque Regression Determined by Intravascular Ultrasound Predicts Long-Term Outcomes of Patients with Acute Coronary Syndrome.	J Atheroscler Thromb.	18	231-139	2011
43	西谷美帆, 島田和典, 代田浩之	心臓リハビリテーション・運動療法のプラーク安定化作用と血管保護作用	呼吸と循環	59(3)	227-232	2011
44	Nishitani M, <u>Daida H</u> , et al.	Impact of diabetes on muscle mass, muscle strength, and exercise tolerance in patients after coronary artery bypass grafting.	J Cardiol	58	173-180	2011
45	Nishino A, <u>Daida H</u> , et al.	Long-term effect of metabolic syndrome with and without diabetes mellitus on coronary revascularization in Japanese patients undergoing percutaneous coronary intervention.	Clin Cardiol	34	610-616	2011
46	Masaki Y, <u>Daida H</u> , et al.	Clinical significance of the measurements of plasma N-terminal pro-B-type natriuretic peptide levels in patients with coronary artery disease who have undergone elective drug eluting stent implantation.	J Cardiol	57	303-310	2011
47	島田和典, 代田浩之	動脈硬化と心臓リハビリテーション. Atherosclerosis and cardiac rehabilitation. -From bedside to bench-	心臓リハビリテーション (JJCR)	16	40-43	2011
48	蔡榮龍, 代田浩之	糖尿病の血管合併症予防を目指した集学的リスク管理	月刊糖尿病	3	96-102	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
49	Dohi T, <u>Daida H</u> , et al.	Prognostic impact of chronic kidney disease on 10-year clinical outcomes among patients with acute coronary syndrome.	J Cardiol	60	438-442	2012
50	深尾宏祐, <u>代田浩之</u>	糖尿病合併症発症・進展阻止のための 包括的管理 血圧管理	日本臨牀	70	275-280	2012
51	Nishitani M, <u>Daida H</u> , et al.	Effect of cardiac rehabilitation on muscle mass, muscle strength, and exercise tolerance in diabetic patients after coronary artery bypass grafting.	J Cardiol		Epub ahead of print	2013
52	Matsumori R, <u>Daida H</u> , et al.	High levels of very long-chain saturated fatty acid in erythrocytes correlates with atherogenic lipoprotein profiles in subjects with metabolic syndrome.	Diabetes Res Clin Pract	99	12-18	2013
53	小澤哲也, 松永篤彦, 南里佑太, 忽那俊樹, 松嶋真哉, 小林主献, 逸見房代, 松沢良太, 齊藤正和, <u>増田 卓</u>	維持血液透析患者に対する自覚的困難さに注目した移動動作評価表の信頼性と妥当性の検討	理学療法学	37(1)	9-16	2010
54	Yamaoka-Tojo M, Tojo T, Takahira N, Matsunaga A, Aoyama N, <u>Masuda T</u> , Izumi T	Elevated circulating levels of an incretin hormone, glucagon-like peptide-1, are associated with metabolic components in high-risk patients with cardiovascular disease.	Cardiovascular Diabetology	9(17)		2010
55	松嶋真哉, 松永篤彦, 忽那俊樹, 石井 玲, 逸見房代, 松沢良太, 小林主献, 山本周平, <u>増田 卓</u>	副甲状腺機能が正常な維持血液透析患者の身体活動量は骨形成および骨密度と関連する	臨床理学療法研究	27	39-44	2010
56	亀川大輔, 鈴木秀俊, 山本壱弥, 石井 玲, 松本卓哉, 堀田一樹, 原美弥子, 清水良祐, 小倉 彩, 高平尚伸, 松永篤彦, <u>増田 卓</u>	動脈硬化を有する生活習慣病患者の Non-HDL コレステロール / HDL コレステロールは機能的動脈硬化度を反映する	臨床理学療法研究	27	61-65	2010
57	河野真理, <u>増田 卓</u> , 神谷健太郎, 高橋由美, 見井田和正, 山本周平, 堀田一樹, 木村雅彦, 松永篤彦, 野田千春, 和泉 徹	心血管病患者における禁煙宣言の受容は退院後の再喫煙予防において重要な因子となる	心臓リハビリテーション(JJCR)	15(2)	301-305	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
58	加藤倫卓, 松永篤彦, 内藤裕治, 町田ゆり子, 緒方陽子, 山本周平, 木村雅彦, 増田 卓, 小鹿野道雄, 真鍋宏美, 田邊 潤, 梅本琢也	急性心筋梗塞患者に対する禁煙指 導後の体重増加が冠危険因子に与 える影響	心臓	43(2)	174-180	2011
59	Kutsuna T, Matsunaga A, Takagi Y, Motohashi S, Yamamoto K, Matsumoto T, Ishii A, Takahira N, Yoshida A, Masuda T	Development of a Novel Questionnaire Evaluating Disability in Activities of Daily Living in the Upper Extremities of Patients Undergoing Maintenance Hemodialysis.	Therapeutic Apheresis and Dialysis	15(2)	85-194	2011
60	Yamaoka-Tojo M, Tojo T, Wakaume K, Kameda R, Nemoto S, Takahira N, Masuda T, Izumi T	Circulating interleukin -18: A specific biomarker for atherosclerosis-prone patients with metabolic syndrome.	Nutrition & Metabolism	8(3)		2011
61	Masuda T, Ogura M, Moriya T, Takahira N, Matsumoto T, Kutsuna T, Hara M, Aiba N, Noda C, Izumi T	Beneficial effects of L- and N- type calcium channel blocker on glucose and lipid metabolism and renal unction in Patients with Hypertension and Type II Diabetes Mellitus.	Cardiovascular Therapeutics	29(1)	46-53	2011
62	Matsumoto T, Masuda T, Hotta K, Shimizu R, Ishii A, Kutsuna T, Yamamoto K, Hara M, Takahira N, Matsunaga A	Effects of prolonged expiration breathing on cardiopulmonary responses during incremental exercise.	Respiratory Physiology & Neurobiology	178	275-282	2011
63	Yamaoka-Tojo M, Tojo T, Masuda T, Izumi T	Ezetimibe and Reactive Oxygen Species.	Current Vascular Pharmacology	9	109-120,	2011
64	忽那俊樹, 増田 卓	透析患者に対する運動療法の適応と 禁忌. (Indications and contraindications to exercise training in patients undergoing maintenance hemodialysis.)	臨床透析	27	1313-1318	2011
65	根本慎司, 松永篤彦, 山本周平, 亀川大輔, 松沢良太, 阿部義史, 高橋佑太, 林 祐介, 室内直樹, 若梅一樹, 木村雅彦, 神谷健太郎, 見井田和正, 野田千春, 東條美奈子 増田 卓, 和泉 徹	高齢虚血性心疾患患者の退院後の身 体活動強度は下肢筋力だけでなくバ ランス機能の影響を受けている	心臓リハビリテーショ ン (JJCR)	17	98-102	2012

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
66	Aiba N, Hotta K, Yokoyama M, Wang G, Tabata M, Kamiya K, Shimizu R, Kamekawa D, Hoshi K, Yamaoka-Tojo M, <u>Masuda T</u>	Usefulness of pet ownership as a modulator of cardiac autonomic imbalance in patients with diabetes mellitus, hypertension and/or hyperlipidemia.	American Journal of Cardiology	109	1164-1170	2012
67	若梅一樹, 東條美奈子, 根本慎司, 亀田 良, 饗庭尚子, 吉田友紀, 町田陽二, <u>増田 卓</u> , 和泉 徹	生活習慣病患者における歩数計を利用したセルフモニタリングによる運動 指導は身体活動量を増加させ血管内皮機能の改善につながる	日循予防誌	47(1)	13-23	2012
68	Niwano S, Hirasawa S, Niwano H, Sasaki S, Masuda R, Sato K, <u>Masuda T</u> , Izumi T	Cardioprotective effects of sarcolemmal and mitochondrial K-ATP channel openers in an experimental model of autoimmune myocarditis. – Role of the reduction in calcium overload during acute heart failure. –	Int Heart J	53	139-145	2012
69	Kazuya Yamamoto, Naoyuki Kobayashi, Toshiki Kutsuna, Akira Ishii, Takuya Matsumoto, Miyako Hara, Naoko Aiba, Minoru Tabata, Naonobu Takahira, <u>Takashi Masuda</u>	Excessive fall of blood pressure during maintenance hemodialysis in patients with chronic renal failure is induced by vascular malfunction and imbalance of autonomic nervous activity.	Therapeutic Apheresis and Dialysis	16(3)	219-225	2012
70	Akihiro Takeuchi, Tomomi Kobayashi, Minoru Hirose, <u>Takashi Masuda</u> , Toshiro Sato, Noriaki Ikeda	Arterial pulsation on a human patient simulator improved students' pulse assessment.	Journal of Biomedical Science and Engineering	5	285-289	2012
71	Kentaro Kamiya, Alessandro Mezzani, <u>Takashi Masuda</u> , Atsuhiko Matsunaga, Pantaleo Giannuzzi	Effects of electrical muscle stimulation in a left ventricular assist device patient.	International Journal of Cardiology	160(3)	e44-45	2012
72	Shuhei Yamamoto, Atsuhiko Matsunaga, Kentaro Kamiya, Kazumasa Miida, Yukari Ebina, Kazuki Hotta, Ryosuke Shimizu, Ryota Matsuzawa, Yoshifumi Abe, Masahiko Kimura, Shinobu Shimizu, Hiroyuki Watanabe, Chiharu Noda, Minako Yamaoka-Tojo, <u>Takashi Masuda</u> , Tohru Izumi	Walking speed in patients with first acute myocardial infarction who participated in a supervised cardiac rehabilitation program after coronary intervention.	Int Heart J	53(6)	347-352	2012

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
73	Hirose T, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Expression of adrenomedullin 2/intermedin, a possible reno-protective peptide, is decreased in the kidneys of rats with hypertension or renal failure.	Am J Physiol Renal Physiol	299	F128-134	2010
74	Ito D, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Atorvastatin upregulates the expression of nitric oxide synthases with Rho-kinase inhibition and Akt activation in the kidney of spontaneously hypertensive rats.	J Hypertens	28	2278-2288	2010
75	Chida K, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Optimizing patient radiation dose in intervention procedures.	Acta Radiol	51	33-39	2010
76	小山照幸, <u>上月正博</u> 他	心大血管疾患リハビリテーション料届出医療機関の動向 平成20年度診療報酬改定後の心臓リハビリテーションの現状	心臓リハビリテーション(JJCR)	15	340-343	2010
77	<u>上月正博</u>	重複障害の時代における心大血管疾患リハビリテーション	心臓リハビリテーション(JJCR)	15	75-77	2010
78	<u>上月正博</u>	日本の心臓リハビリテーションの現状と将来：わが国における心臓リハビリテーションの問題点	心臓リハビリテーション(JJCR)	15	72-74	2010
79	Cao P, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Endogenous hydrogen peroxide upregulates the expression of nitric oxide synthases in the kidney of spontaneously hypertensive rats.	J Hypertens	29	1167-1174	2011
80	<u>上月正博</u>	心不全パンデミックにどう対処するか 心不全患者の予後改善を目指した運動処方	循環器内科	70	59-64	2011
81	<u>上月正博</u>	心臓リハビリテーションと保険診療	循環器内科	69	267-274	2011
82	<u>上月正博</u>	高齢者に対する心臓リハビリテーションの意義と留意点	日本医事新報	4535	89-88	2011
83	坂田佳子, <u>上月正博</u> , 他	急性心筋梗塞の心臓リハビリテーションの現状：宮城県心筋梗塞対策協議会による登録事業を背景に	心臓リハビリテーション(JJCR)	16	101-108	2011
84	坂田佳子, <u>上月正博</u> , 他	急性心筋梗塞回復期心臓リハビリテーションの現状：宮城県のリハビリテーション診療施設および診療所における実態調査	心臓リハビリテーション(JJCR)	16	135-141	2011
85	<u>上月正博</u>	高齢者の心臓リハビリテーションの特異性と留意点	心臓リハビリテーション(JJCR)	16	31-34	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
86	上月正博	心血管治療としての心臓リハビリテーション.わが国における心臓リハビリテーションの実態と普及促進の課題	呼吸と循環	59	275-282	2011
87	上月正博	高齢者の呼吸・循環・嚥下障害と理学療法.高齢者の循環障害の特性	理学療法	28	1113-1119	2011
88	Sakata Y, <u>Kohzuki M</u> , et al.	The implementation of cardiac rehabilitation after acute myocardial infarction in Northern Japan.	International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	6	38-39	2011
89	Rong R, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Exercise training decreases the enhanced expression of soluble (pro)renin receptor in the kidney of spontaneously hypertensive rats.	International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	6	40-41	2011
90	Tamura Y, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Combined management program effects of chronic heart failure rehabilitation.	International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	6	107-108	2011
91	Kim M, <u>Kohzuki M</u> , et al.	The effect of exercise training on walking ability and health-related quality of life in patients with peripheral arterial disease.	International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	6	36-37	2011
92	Sakuyama A, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Effects of exercise training on the expression of angiotensin-converting enzyme in the kidney of spontaneously hypertensive rats.	International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	6	143-144	2011
93	Imanishi R, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Nighttime storage symptoms in female stroke residents staying at a residential facility.	International Society of Physical and Rehabilitation Medicine	6	35	2011
94	Ebihara S, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Effect of aging on cough and swallowing reflexes: implications for preventing aspiration pneumonia.	Lung	190	29-33	2012
95	上月正博, 長山雅俊	維持期・在宅の心臓リハビリをどう実践するか (まとめ)	心臓リハビリテーション(JJCR)	17(1)	53-55	2012
96	上月正博, 小山照幸 ほか	平成24年度診療報酬改定について	心臓リハビリテーション(JJCR)	17(2)	289-292	2012
97	<u>Kohzuki M</u>	A paradigm shift in rehabilitation Medicine: From “adding life to years” to “adding life to years and years to life”.	Asian Journal of Human Services	2	1-7	2012
98	Niu K, <u>Kohzuki M</u> , et al.	Adiponectin pathway attenuates malignant mesothelioma cell growth.	Am J Respir Cell Mol Biol	46	515-523	2012

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
99	森 信芳, 上月正博	こんなときどうする? 内科医のためのリハビリテーションセミナー(第9回) 心臓 急性心筋梗塞後(解説)	Medicina	49(13)	2212-2215	2012
100	Liu M, Kohzuki M, et al.	How did rehabilitation professionals act when faced with the Great East Japan earthquake and disaster?	J Rehabil Med	44	421-428	2012
101	Ebihara S, Kohzuki M, et al.	Effects of olfactory stimulation on gait performance in frail older adults.	Geriatr Gerontol Int	12	567-568	2012
102	Ebihara S, Kohzuki M, et al.	Impact of Blunted expectation of Dyspnea on Medical care Use and Expenditure, and Mortality in Elderly People.	Front Physiol	3	1-8	2012
103	Miura M, Kohzuki M, et al.	Electrical stimulation of the abdomen preserves motor performance in the inactive elderly: a randomized controlled trial.	Tohoku J Exp Med	228(2)	93-101	2012
104	Miura M, Kohzuki M, et al.	Functional Changes in the care-needing elderly after surface electrical stimulation to the abdomen.	J Jpn Phys Ther Assoc	15	15-20	2012
105	Muroya Y, Kohzuki M, et al.	Disorders of fatty acid metabolism in the kidney of PAN - induced nephrotic rats.	Am J Physiol Renal Physiol	303	1070-1079	2012
106	Sakamoto Y, Kohzuki M, et al.	Fall prevention using olfactory stimulation with lavender odor in elderly nursing home residents: a randomized controlled trial.	J Am Geriatr Soc	60(6)	1005-1011	2012
107	Kanezaki M, Kohzuki M, et al.	Effect of cigarette smoking on cough reflex induced by TRPV1 and TRPA1 stimulations.	Respir Med	106	406-412	2012
108	Gui P, Kohzuki M, et al.	Urge-to-cough and dyspnea conceal perception of pain in healthy adults.	Respir Physiol Neurobiol	181	214-219	2012
109	森 信芳, 上月正博	こんなときどうする? 内科医のためのリハビリテーションセミナー(第10回) 心臓 心不全(解説)	Medicina	50(1)	170-172	2013
110	Makita S, Uchida R	Improvement of Cardiorespiratory capacity for patients with severe heart failure after LVAS implantation.	2 nd Asian Oceania Conference of Physical and Rehabilitation Medicine,		77-79	2010
111	Sato S, Makita S, Uchida R, Ishihara S, Masuda M	Effect of Tai Chi training on baroreflex sensitivity and heart rate variability in patients with coronary heart disease.	Int Heart J	51	238-241	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
112	佐藤真治, 牧田 茂	心筋梗塞患者における集団スポーツリハビリテーションが認知機能に与える影響	大阪産業大学人間環境論集	9	107-113	2010
113	牧田 茂	心疾患の包括的リハビリテーションにおけるリハ科医の役割	Jpn J Rehabil Med	47	205-209	2010
114	内田龍制, 牧田 茂	補助人工心臓装着から心臓移植に至りスポーツ大会に参加しえた重症心不全症例の心臓リハビリテーション経過	臨床スポーツ医学	27	745-749	2010
115	牧田 茂	心疾患のある人の不安と運動	体育の科学	60	528-532	2010
116	牧田 茂	不整脈の発症予防にとって運動はリスクかベネフィットか?	Life Style Medicine	4	341-347	2010
117	牧田 茂	心臓リハビリテーション指導士の活動状況について	臨床スポーツ医学	27	739-743	2010
118	牧田 茂	慢性心不全の予後改善治療法としての運動療法	呼吸と循環	59	233-239	2011
119	今村貴幸, 間嶋 満, 佐藤真治, 牧田 茂	自重を用いた在宅レジスタンストレーニングが慢性期心疾患患者の運動耐容能に及ぼす効果	体力科学	60	177-184	2011
120	牧田 茂	LVAD患者の社会復帰を目指したリハビリテーションー現所と今後の課題ー	呼吸と循環	59	S19-S21	2011
121	牧田 茂	心臓・末梢血管疾患	総合リハビリテーション	39	528-534	2011
122	牧田 茂	大動脈疾患のリハビリテーションーオーバービューー	Journal of Clinical Rehabilitation	20	712-717	2011
123	牧田 茂	心臓リハビリテーション	Jpn J Rehabil Med	48	671-679	2011
124	牧田 茂	心大血管疾患のリハビリテーション	日本医師会雑誌	140	41-45	2011
125	斉藤友美, 山崎宗隆, 牧田 茂	当院でリハビリテーションを実施した慢性心不全症例における再入院因子の検討	日本臨床生理学会雑誌	42	103-106	2012
126	牧田 茂	社会復帰、リハビリテーションの現状と効用ー③高齢者の複合疾患合併に対するリハビリテーション	心臓	44	522-524	2012
127	Ueshima K, Kobayashi N, Yamazaki T, Saitoh M, Nakamura M, Nakao K	Clinical significance of awake oscillatory ventilation in patients with heart failure and effects of open-heart surgery.	Clin Cardiol	33	E20-23	2010

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
128	Yasuno S, <u>Ueshima K</u> , Oba K, Fujimoto A, Hirata M, Ogihara T, Saruta T, Nakao K	Is pulse pressure a predictor of new-onset diabetes in high risk hypertensive patients?: A subanalysis of the candesartan antihypertensive survival evaluation in Japan(CASE-J) trial.	Diabetes Care	33	1122-1127	2010
129	Nakao K, Hirata M, Oba K, Yasuno S, <u>Ueshima K</u> , Fujimoto A, Ogihara T, Saruta T	Role of diabetes and obesity in outcomes of the candesartan antihypertensive survival evaluation in Japan (CASE-J) trial.	Hypertens Res	33	600-606	2010
130	<u>Ueshima K</u> , Yasuno S, Oba K, Fujimoto A, Mukoyama M, Ogihara T, Saruta T, Nakao K	Impact of left ventricular hypertrophy on the time-course of renal function in hypertensive patients: A subanalysis of the CASE-J trial.	Circ J	74	2132- 2138	2010
131	山田真輔, 千葉 誠, 藤本泰史, 柳本 智, 堀井吉幸, 鎌田里香, 早瀬智子, 近藤敦子, <u>上嶋健治</u> , 野木佳男	当院の心臓リハビリテーション実施患者が訴える疼痛に関する調査	臨床運動療法研究会誌	12	32-35	2010
132	Ogihara T, Fujimoto A, <u>Ueshima K</u> , Nakao K, Saruta T	Age-related differences in the effects of antihypertensive therapy on left ventricular hypertrophy in high-risk patients with hypertension: candesartan antihypertensive survival evaluation in Japan subanalysis.	J Am Geriatr Soc	59	180-181	2011
133	Nakao MY, <u>Ueshima K</u> , Teramukai S, Tanaka S, Yasuno S, Fujimoto A, Kawakami K, Nakao K	Considering selection bias when developing a search strategy.	Arch Intern Med	171	471-472	2011
134	大江陽子, <u>上嶋健治</u> , 大庭幸治, 福富まさ美, 井上房子, 高木真理子, 中本まり子, 小林純子, 田中佐智子, 保野慎治, 藤本明, 中尾一和	臨床試験の症例登録は一部の参加医師により大部分がなされるのか?: CASE-J 試験によるパレートの法則の検証	臨床評価	38	885-890	2011
135	大江陽子, <u>上嶋健治</u> , 大庭幸治, 福富まさ美, 井上房子, 高木真理子, 中本まり子, 小林純子, 田中佐智子, 保野慎治, 藤本 明, 中尾一和	臨床試験の症例登録は一部の参加医師により大部分がなされるのか?: CASE-J 試験によるパレートの法則の検証	臨床評価	38	885-890	2011

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
136	小林純子, 上嶋健治, 大江陽子, 福富まさ美, 井上房子, 高木真理子, 中本まり子, 藤堂祥子, 長谷部美代子, 山中真由美, 大庭幸治, 田中佐智子, 保野慎治, 藤本 明, 中尾一和	CASE-J Ex 試験への継続参加医師の背景因子について	臨床評価	39	407-412	2011
137	上嶋健治, 中本まり子, 福富まさ美, 大江陽子, 井上房子, 小林純子, 藤堂祥子, 長谷部美代子, 中尾一和	臨床試験の症例登録とデータマネージメントを効率的に進めるための試み	循環器内科	70	621-624	2011
138	折口秀樹	心リハを熱く語ろう (まとめ)	心臓リハビリテーション(JJCR)	16(1)	85-88	2011
139	折口秀樹	腹部大動脈瘤術後のリハビリテーション	Journal of Clinical Rehabilitation	20	730-735	2011
140	折口秀樹	心臓リハビリテーション施設とスタッフ	循環器内科	69	241-246	2011
141	折口秀樹	ハウツーセッション3 この症例の運動処方はどうする? (まとめ・総論)	心臓リハビリテーション(JJCR)	17(1)	72-75	2012
142	折口秀樹, 中村好一	シンポジウム6 地域医療と心臓リハビリテーション (まとめ)	心臓リハビリテーション(JJCR)	18(1)	23-26	2013
143	安達 仁	心臓リハビリテーションと交感神経系	Heart View	14	99-106	2010
144	長山雅俊	包括的心臓リハビリテーションの必要性, 運動強度と退院後指導	内科	106	429-435	2010
145	長山雅俊	心筋梗塞後の心臓リハビリテーション	Medicina	47	1604-1607	2010
146	長山雅俊	心不全に対する運動療法	循環器内科	69	247-251	2011
147	長山雅俊, 伊東春樹, 前田知子	急性心筋梗塞後の心臓リハビリテーション	日本臨牀	69	203-209	2011
148	長山雅俊	心筋梗塞後のリハビリテーションと再発予防	四国医誌	67	127-134	2011
149	長山雅俊	心不全治療法の適応と評価 早期リハビリテーション	ICUとCCU	35	757-763	2011
150	長山雅俊	虚血性心疾患の概論	臨床栄養	121(1)	18-25	2012
151	長山雅俊	心臓リハビリテーションの現況	ICUとCCU	36(6)	415-422	2012
152	長山雅俊	心筋梗塞急性期、慢性期のリハビリテーションと運動療法	診断と治療	101(1)	136-142	2013

No.	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
153	堀田千晴, <u>大宮一人</u> ほか	入院期心疾患患者の歩行能力に対する糖尿病と運動機能の影響	心臓リハビリテーション(JJCR)	15	265-269	2010
154	木田憲明, <u>大宮一人</u> ほか	高血圧に対する運動療法 ～企業内健康サポートセンターでの取り組み～	心臓リハビリテーション(JJCR)	15	306-309	2010
155	土屋絢子, 長田尚彦, <u>大宮一人</u> ほか	動脈硬化関連因子の既往を有さない閉塞性睡眠時無呼吸患者の血管内皮機能についての検討	日本臨床生理学会雑誌	40	177-184	2010
156	<u>大宮一人</u>	虚血性心疾患患者における心臓リハビリテーション	日本臨床	68	685-691	2010
157	<u>大宮一人</u> , 伊東春樹	わが国の心臓リハビリテーションの現状 - 欧米との比較を中心に -	臨床スポーツ医学	27	701-706	2010
158	<u>大宮一人</u>	心疾患患者へのレジスタンストレーニングとは	日本医事新報	4511	76-77	2010
159	武市尚也, <u>大宮一人</u> ほか	入院期心大血管疾患患者における下肢筋力水準別の身体活動量の関連要因	神奈川県士会会報	39	54-58	2011
160	西山昌秀, <u>大宮一人</u> ほか	入院期心筋梗塞患者における病棟自由歩行自立の規定因子に関する検討	神奈川県士会会報	39	76-80	2011
161	Izawa KP, <u>Omiya K</u> , Makuuchi H, et al.	Cardiac rehabilitation outcome following percutaneous coronary intervention compared to cardiac surgery.	Recent Patents on Cardiovascular Drug Discovery	6	133-139	2011
162	Kou S, Suzuki K, Akashi YJ, <u>Omiya K</u> , et al.	Global longitudinal strain by two-dimensional speckle tracking imaging predicts exercise capacity inpatients with chronic heart failure.	Journal of Echocardiography	9	64-72	2011
163	平木幸治, 井澤和大, 渡辺 敏, <u>大宮一人</u> , 他	糖尿病を合併した急性心筋梗塞患者の運動耐容能低下の関連要因	理学療法学	38	343-350	2011
164	Izawa KP, <u>Omiya K</u> , Watanabe S, et al.	Relation between sleep quality and physical activity in chronic heartfailure patients.	Recent Patents on Cardiovascular Drug Discovery	6	161-167	2011
165	堀田千晴, 平木幸治, 渡辺 敏, <u>大宮一人</u> , 他	慢性腎臓病を合併した慢性心不全患者における運動耐容能とその関連要因の検討	理学療法学	38	436-441	2011
166	Izawa KP, <u>Omiya K</u> , Watanabe S, et al.	Physical activity in relation to exercise capacity in chronic heart failurepatients.	International Journal of Cardiology	152	152-153	2011
167	平木幸治, 井澤和大, 渡辺 敏, <u>大宮一人</u> , 他	糖尿病を合併した急性心筋梗塞患者における運動療法の効果	理学療法学	39	1-6	2012